

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科		理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名		日常生活活動学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	16 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		2年		学期及び曜時限	後期	教室名	302
担 当 教 員		荒木 将平	実務経験とその関連資格	維持期の理学療法経験あり。中枢神経疾患など多岐にわたる疾患を経験。実習指導者としても経験あり。			
《授業科目における学習内容》							
日常生活活動を構成する要素を理解し、理学療法士の立場で支援・指導できることを目標に適切な日常生活活動を評価および指導できる能力を身に付ける。							
《成績評価の方法と基準》							
授業態度、課題レポート、筆記試験の総合評価とする。							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
日常生活活動学テキスト 南江堂							
《授業外における学習方法》							
授業の予習や復習を行う							
《履修に当たっての留意点》							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	ADL評価の概要と評価法について説明できる		配布資料	配布資料や疾患の病態等を事前に学習しておく。	
		各コマにおける授業予定	ADL評価の概要と評価法				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	動作分析の視点について説明できる		配布資料	配布資料や疾患の病態等を事前に学習しておく。	
		各コマにおける授業予定	動作分析の視点				
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	バーセルインデックス(BI)について説明できる		配布資料	配布資料や疾患の病態等を事前に学習しておく。	
		各コマにおける授業予定	バーセルインデックス(BI)				
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	バーセルインデックス(BI)について説明できる		配布資料	配布資料や疾患の病態等を事前に学習しておく。	
		各コマにおける授業予定	バーセルインデックス(BI)				
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	機能的自立度評価法(FIM)について説明できる		配布資料	配布資料や疾患の病態等を事前に学習しておく。	
		各コマにおける授業予定	機能的自立度評価法(FIM)				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	機能的自立度評価法(FIM)について説明できる	配布資料	配布資料や疾患の病態等を事前に学習しておく。
		各コマにおける授業予定	機能的自立度評価法(FIM)		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	症例についてBI/FIM点数をつけることができる。	配布資料	配布資料や疾患の病態等を事前に学習しておく。
		各コマにおける授業予定	症例の点数付け(BI/FIM)		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	症例についてBI/FIM点数をつけることができる。	配布資料	配布資料や疾患の病態等を事前に学習しておく。
		各コマにおける授業予定	症例の点数付け(BI/FIM)		